

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2006年 5月号

平成18年4月25日発行
通巻89号

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／オールウェイズ(津センターパレス1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●特定非営利活動法人みえきた市民活動センター ●四日市市●四日市市民活動センター／寺子屋プロジェクト ●鈴鹿市●市民活動情報ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学／松阪市民活動センター／松阪まちづくりセンター『まちの駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／伊勢市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾート赤目の森／名張市市民活動センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●明和町市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南勢町市民活動室連絡協議会

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレんてみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町村役場

NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案を募集します!

県では、NPOが自ら企画して県に提案し、相互に議論・検討を重ね、NPOと県とが協働で進める事業の募集を行います。これは、「新しい時代の公」を多様な主体で担っていく「市民発」の仕組みを推進しようとするものです。この事業の説明会を5月15日(月)に行います。平成17年度に採択された事業、継続している事業について、提案したNPOが事例発表会を行います。その後、平成18年度の募集要項の説明を行います。提案を予定している団体の方だけでなく、協働事業について興味をお持ちの方もぜひお気軽に参加してください。(事前申込不要)

- 提案事業を募集／(1)三重県との「協働事業提案」であること。
- (2)「協働事業提案」とは、NPOの企画・提案により、NPOと県とが協働で取り組む事業のことです。事業期間が複数年にまたがる提案も可能ですが、事業構築に要する検討期間は1年以内を基本とします。
- (3)協働事業提案のテーマは以下のとおりです。

1. 自由テーマ

2. 県で設定するテーマ

- ・新たな産消連携モデルの実践について(農水商工部担い手室)
- ・若年無業者の自立に向けた支援のネットワークづくりとアウトリーチについて(生活部勤労・雇用支援室)
- ・新たなごみ減量化(3R)システムの構築について(環境森林部ごみゼロ推進室)

※各テーマの詳細は、NPO室のホームページ参照してください。

●締切／5月31日(水)(郵送の場合当日消印有効)

「協働事業提案書」及び関係書類を、下記へ直接、または郵送、Fax、E-mailで提出してください。(提案書様式は、アスト津3階NPO室他、各県民センターにあります。なお、NPO室のホームページからもダウンロードが可能です)

●説明会／5月15日(月)15:30～18:00 アスト津3階(昨年度の事業の発表もあります)

●公開審査会／6月8日(木) ※詳細は、ホームページをご覧ください。

●応募資格／(1)三重県内で、民間・非営利の活動を行っているボランティア・市民活動団体や自治会等であること。法人格の有無は問いません。

(2)活動分野は限定しませんが、宗教活動や政治活動を主たる活動目的とした団体ではないこと。また、特定の公職者(候補者を含む)または政党を推薦、支持、反対することを目的とした団体ではないこと。

●企画の審査／NPOから提出された協働事業提案企画書と公開のプレゼンテーションにより、選考委員会が審査します。

●問い合わせ先・提案書提出先／514-0009 津市羽所町700 アスト津3階三重県生活部NPO室 Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

つながる つなげる 13 県ボランティアセンター 北出真由美

先月の「シニア世代」話題の続きです。

定年退職された方々を対象として、ボランティア活動へのアプローチをしていくと同時に、あと数年で定年を迎えるけれど、現在はまだ企業などに勤めてみえる方々にも働きかけをしていきたい!となると、パタッと思考が止まってしまいます。

県内にボランティア担当の窓口を設けている企業って、どのくらいあるのだろうか? その窓口がないところへはどうすればいいのだろうか? 各々の企業に個別にあたればいいのか? その時はどの部署に? やはり総務が「まずは」の窓口? それとも人事担当の方? 業種ごとの連合会、協会なども手掛かりとなるのでは?

単独で考えることには限界があるし、「?」だらけになってしまいます。こんなのがあれば、ぜひ、情報提供をお願いします!

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

はじめの 一歩

これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

行政に協働事業として提案すること

いままでは、活動を始めた方、始めた方向けに、「はじめの一歩」を書いてきたのですが、その次の段階の話に移ります。自分たちの団体だけで解決することが困難でも、他の組織と協働して解決できる場合があります。

しかし、行政は、予算等が厳しい今の社会状況では、積極的に取り組めないということが往々にしてあります。「意義は大切だと思うが、予算も削減の折から先のことは考えられません。責任のないことはいえません。」と議論が平行線をたどることは、よくあることです。

法令等、なんらかの根拠に基づかなければ動けない行政と一緒にやっていくことは大変な作業です。でも、そこを避けていけば、課題はいつまでたっても厳然としてありつづけます。そして、社会状況が

変わってきて、行政の判断基準を見直さなければならない時期が来ていても、見直す場がなければなかなかわかりません。そして、もし見直せるのであれば、課題に先駆的に取り組んできた市民の意見を反映することが必要だとNPO室では考えています。

また、先駆的なNPO活動から見てきた今の課題を行政と共有して取り組んでいく「協働」という作業は、「公益のために活動する」とは、どういうことなのかを行政とNPO、それぞれが考える場になります。先駆的すぎて今の段階では受け入れられない提案もあるかもしれませんが、こうした機会こそが「新しい公共」を考え、次のあり方を形作っていくのだと思います。

NPO室では、「NPO(ボランティア・市民活動団体等)からの協働事業提案」として平成15年度から取り組んできました。今年度も募集をしています。(トップ記事をご覧ください)5月15日(月)午後から募集要綱の説明会を行います。そのなかで昨年取り組んだ団体から取組を発表してもらいます。ぜひ、みなさん聞きに来てください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置してあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 (1)GrabQR(グラブキューアール)(2)大西正人(3)松阪市深長町828番地
 (1)芭蕉俳句文学館(2)光野及雄(ミツノ チカヲ)(3)津市久居本町1570番地2
 (1)どんぐり(2)山川貴美寿(ヤマカワ キミヒサ)(3)志摩市磯部町迫間282番地3
 (1)Mブリッジ(2)米山哲司(ヨネヤマ サトシ)(3)松阪市塚本町554番地
 (1)ゆいの里(2)岡島正尚(3)伊賀市柘植町2308番地の1
 (平成18年3月15日~平成18年4月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人やすらぎ動物霊園(平成18年1月23日)
 特定非営利活動法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク(平成18年3月1日)
 特定非営利活動法人四日市男女共同参画研究所(平成18年3月9日)
 特定非営利活動法人四日市市建築防災センター(平成18年3月20日)
 特定非営利活動法人おしゃべり工房(平成18年3月15日)
 特定非営利活動法人NPO法人文化創造塾(平成18年3月13日)
 特定非営利活動法人EM環境ネット津(平成18年3月23日)
 特定非営利活動法人松阪わの会(平成18年3月17日)
 特定非営利活動法人動物との共生ネットワーク(平成18年3月24日)
 (平成18年3月15日~平成18年4月14日届出分)

イベントスケジュール

第5回ピースネット5.3市民のつどい

- とき/5月3日(水)11:00開場
 ●ところ/四日市市総合会館8F視聴覚室・展示室
 ●参加協力券/前売800円、当日1000円(抽選券つき)
 ●内容/沖縄・岩国から現地報告。沖縄平和市民連絡会・共同代表、平良夏芽さんの「辺野古ボーリング阻止の戦い」。岩国住民投票の成果をいかす会・共同代表、大川清さんの「ストップ!米軍再編」のほか、市民交流広場や落語なども行います。
 ●主催・問い合わせ先/ピースネット5.3市民のつどい実行委員会事務局(担当:片岡) Tel.090-7854-8054

第12回 テリーフォックスラン

- 内容/がんを患い、片足が義足となりながらもがん研究を支援するため募金を集めながらアメリカ大陸を走って横断しようとした

テリー・フォックスの遺志を継ぎ、彼の名前を冠したラン・ウォーク。募金はすべてテリー・フォックスラン財団・がん研究機関を通じて優れたがん研究に使われます。募金は各地に設置してある募金箱やランナーへの手渡し、口座振り込みで受け付けています。また、沿道・立ち寄り施設で募金、オリジナルTシャツの販売も行っています。

【伊勢街道コース】

- とき/5月11日(木)10:00大阪城スタート~5月13日(土)松阪農業公園ベルファームゴール

【参宮街道コース】

- とき/5月15日(月)9:00愛知県がんセンタースタート~5月17日(水)松阪市役所ゴール

【熊野街道コース】

- とき/5月18日(木)8:00熊野那智大社スタート~5月20日(土)松阪市中部台運動公園ゴール

【ファイナルラン・ウォーク】

- とき/5月21日(日)10:00受付 11:00スタート
 ●参加費/18歳以下100円以上、19歳以上1000円以上
 ●コース/松阪農業公園ベルファームを起点として3、5、10km。
 ※ラン・ウォーク後、交流会を行います。
 ●申込方法/伊勢街道、参宮街道、熊野街道の3コースには個人またはチーム(各チーム人数制限無し)での参加歓迎。参加希望のコース、日時は3日前までに連絡を。
 ●主催・申込・問い合わせ先/テリーフォックスラン日本実行委員会 Tel.090-2185-5402

E-mail webmaster@terryfoxrun.jp

ホームページ http://terryfoxrun.jp

平成18年度環境学習指導者養成講座

みえ環境学習セミナー

- とき/5月13・27日、6月10・24日、7月8日(全て土)
 ※6月24日は直接現地集合(三重県度会郡大紀町)
 ●ところ/三重県四日市市庁舎附属棟1階 第101会議室
 ●内容/環境学習は、学校だけでなく企業で地域でそして家庭でも、さまざまな場所で必要とされています。ぜひ、この機会に、ともに環境について学び、実生活でいかし、次世代を担う子どもたちへ伝えていきましょう!これまでに、受講された方々は「環境学習サークルみえ」を組織し、環境保全活動や小学校などでの省エネルギー講座、「みえ環境学習セミナー」のファシリテーターやアドバイザーとして活躍しています。なお、公開講座は申込みなしで受講できます。詳細はお問い合わせを。

【公開講座】

応募期間 7月3日(月)～26日(水)

第7期 東紀州地域 10月1、15、22日(全て日)

応募期間 8月28日(月)～9月20日(水)

【(2)歴史的建築コース】

第3期 中南勢地域 6月3、10、24日、7月1、8、22日(全て土) 応募期間 4月24日(月)～5月24日(水)

第4期 北勢地域 9月3、9、30日、10月7、21日、11月4日(全て土) 応募期間 7月31日(月)～8月23日(水)

●参加費／

【(1)文化資産コース】2000円

【(2)歴史的建築コース】5600円

●内容／三重県の歴史・風土が育んだ豊かな歴史的・文化的資産、古い建物や道標・石仏、巨樹や地域のまつりや風俗などを守り活用し・伝えるために、一定の専門的な知識や技術を持った人材を育成・確保し、県内各地域のまちづくりや文化の醸成のために活用できるようにすることを目標に開催します。コースは文化資産全般について保全・活用を学ぶ「(1)文化資産コース」と、歴史的建築やまちなみなどの保全活用を学ぶ専門的な「(2)歴史的建築コース」があります。受講資格は三重県在住・在勤・在学の18歳以上の方で、地域の文化資産に興味をもち、文化資産の保全や、文化資産を活用したまちづくりに積極的に関わりたいという意思のある方。

●募集人数／各コース、各期とも30人

●申込方法／往復はがきに氏名、住所、電話番号、Fax番号、E-mailアドレス、受講希望コースを明記し、下記まで。

●申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 県生活部文化振興室「歴史的・文化的資産保全活用推進員養成講座」係 Tel.059-224-2646 Fax.059-224-2408

E-mail bunka@pref.mie.jp

.....



【四日市まんなか子ども劇場】

子育てサロン「カフェまんなか」

●とき／5月16日(火) 10:30～12:30

(毎月第3火曜予定)

●ところ／四日市まんなか子ども劇場みんなの居場所「きらり」

●参加費／一般500円、会員100円

●内容／子どもは保育に預けて、お母さんだけのおしゃべりの場です。保育代一人500円。二人目から半額です。

子育てサロン きらりカフェ

●とき・ところ／二日とも10:30～12:30

5月30日(火) 南部丘陵公園

6月13日(火) 四日市まんなか子ども劇場みんなの居場所「きらり」

●参加費／一般300円、会員無料

●内容／スタッフがサポートしながら、親子で楽しく遊びます。5月の南部丘陵公園は事前要申込。当日雨天の場合はみんなの居場所「きらり」で遊びます。

生活体験：食育シリーズ

「心と体に栄養満点!子ども料理教室」

●とき／6月10日、10月14日、11月11日(全て土)

3回とも10:30～12:30

●ところ／中部西小学校家庭室(予定)

●参加費／3回4500円(材料費込)

●内容／対象は小学生です。3回通しの参加ですが、1回(1600円)でも受け付けます。

●持ち物／エプロン、三角巾、ふきん、上履き

●募集人数／25人(定員になり次第締切)

●応募締切／6月3日(土)

●申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

.....

.....

第3回MPDリーム助成事業ネットワークで取り組む「虐待」講座

●とき／5月20日(土) 13:00～17:00

21日(日) 10:30～16:00

●ところ／四日市本町プラザ2階会議室

●内容／20日の講師はMIEチャイルドラインセンター代表理事・田部眞樹子さんと、北勢児童相談所の井上良純さん。21日はエンパワメントみえ代表・志治優美さんと、チャイルドライン支援センター理事の山本多賀子さんです。

●主催・申込・問い合わせ先／四日市まんなか子ども劇場

Tel.059-351-6670

●共催／NPO法人体験ひろば☆こどもスペース四日市

Tel.059-321-0883、子育て広場・ドロッピン

Tel.059-363-3728

.....



国際助産師の日第4回三重県大会

“いのち”大切にしたい生と性

●とき／5月20日(土) 12:00～16:00

●参加費／無料

●ところ／三重県総合文化センター第2ギャラリー

●内容／足立裕子さんによる「生まれるって、すごい!」、山本久代さんの「助産師として出会ったいのち」の二講演のほか、妊婦相談やオムツ、抱っこの体験ができる妊婦さんコーナー、赤ちゃんコーナー、思春期コーナーなどもあります。どなたでも参加できます。特に中学生、高校生の方大歓迎!

●主催／三重県看護協会 ●共催／日本助産師会三重県支部

.....



フェアトレードカフェ 世界のお茶会

●とき／5月21日(日) 14:00～16:00

●参加費／200円

●ところ／アスト津3階交流スペース(津駅東口)

●内容／5月は世界フェアトレード月間です。中国茶のデモンストレーションをはじめ、各国のお茶を気軽に楽しみながら、作り手のめぐもりが伝わるフェアトレード商品に触れてみてください。併せてフェアトレードカフェも開催します(11:00～16:00)。

●主催／NGOセンターみえ、ESDin三重、フェアトレードコーナー抱ホームページ <http://www.wftddy.org>

.....



特定非営利活動法人設立記念

ユニバーサルデザインセミナー

●とき／5月21日(日) 13:30～16:00

●ところ／伊賀市ゆめぼりすセンター2階大会議室

(伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の4 Tel.0595-22-0310)

●参加費／500円(資料代)

●内容／一級建築士事務所アクセスプロジェクト主宰の川内美彦さんによる記念講演「ユニバーサル・デザインとまちづくり」。

●募集人数／50人(定員になり次第締切)

●申込方法／住所・氏名・連絡先を明記の上、下記まで。

●申込・問い合わせ先／ユニバーサルデザイン同夢

Tel.&Fax.0595-23-9513 E-mail son@doumu.net

ホームページ <http://www.doumu.net>

.....



心ほっこり!あそびの達人キャンプ塾

●とき／5月27日(土) 13:00受付 13:30集合～

28日(日) 15:00解散※入浴オプションがあります。

●ところ／坂下まなびの森「鈴鹿峠自然の家」

●参加費／3500円(食費、宿泊費、傷害保険代含む、当日徴収) ※5月22日以降キャンセルの場合、キャンセル料1000円必要。

●内容／あそびの達人から秘伝を伝授。対象はリーダーをめざす

方、キャンプに興味のある方、野外・自然活動の好きな方、心がほっこり温まりたい方です。

- 募集人数/40人(16歳以上)
- 応募締切/5月15日(月)定員になり次第締切。
- 申込・問い合わせ先/510-0071 四日市市西浦2-12-4 ほっこりハートアップ事務局(担当:池田)
- Tel.&Fax.059-351-4843



わんぱく相撲津場所

- とき/6月4日(日)8:30受付 9:20競技開始
- ところ/結城神社相撲場(津市)

●内容/津市に住む小学校1年~6年までの学年別個人戦です。なお、4~6年生の優勝者(男子)は7月30日に東京国技館で行われる「第22回わんぱく相撲全国大会」に出場できます。

- 応募締切/5月24日(水)要事前申込
- 申込方法/申込書を下記まで持参または郵送。
- 申込・問い合わせ先/津市丸の内29-14(商工会議所4階)(社)津青年会議所事務局内 わんぱく相撲津場所世話人会(担当:神田・川森) Tel.059-227-3806

ネットワークのよびかけ

ホストファミリーの募集

伊勢市は、JICA(独立行政法人国際協力機構)が行う「青年招へい事業」(技術協力の一環として、開発途上国から将来の国づくりを担う青年を招き専門的分野について学ぶ機会を提供するもの)今回はアフリカ諸国から保健医療分野に携わる青年27名(18歳~35歳の男女)が、8日間の日程で伊勢市を訪れます。そこで、2泊3日のホームステイを受け入れてくださるホストファミリーを募集します。国境を越えて新しい家族をつくってみませんか。

- とき/7月14日(金)夜~7月16日(日)夜までの2泊3日
- 対象/複数世代(2世代以上)で住んでいる家庭
- 留意事項/1、フランス語圏諸国の方々ですが、英語が話せる青年もいます。(その他緊急の場合は、担当係が待機しています)
- 2、イスラム教を信仰しているので、生活、食事、習慣などに配慮が必要な青年もいます。
- 募集数/27家庭(申込多数の場合、ホストファミリーの経験回数が少ない家庭を優先)
- 応募期間/5月1日(月)~5月31日(水)
- 申込方法/応募用紙は下記へ請求。
- 問い合わせ先/伊勢市役所市民参画交流課
- Tel.0596-21-5549 Fax.0596-21-5522
- E-mail kouryu@city.ise.mie.jp

平成18年度通訳・翻訳ボランティア大募集!

(財)三重県国際交流財団では、案内文書やパンフレットなどの翻訳、外国からの訪問者のアテンドやレセプションでの通訳などとして活動していただける方を「通訳・翻訳ボランティア」として登録し、地方公共団体や教育機関、国際交流団体などからの依頼に基づき、活動していただける方を募集します。面接は5月15日(月)~19日(金)に、オリエンテーションは5月28日(日)に実施します。

- 応募締切/5月10日(水)
- 申込方法/「通訳・翻訳ボランティア登録申込書」はホームページからダウンロード。ダウンロードできない場合は下記へ電話、Fax、E-mailで連絡。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先/514-0009 津市羽所町アスト津3階 財団法人三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp
- ホームページ <http://www.mief.or.jp>

助成金 ニュース

平成18年度「新しい時代の公」地域貢献促進事業・補助金

- 受付期間/5月1日(月)~31日(水)当日消印有効
- 助成の対象となる団体/三重県内で地域貢献活動に取り組む地域の団体(NPO、任意のサークル等も含みます)ですが、営利目的の団体、宗教目的の団体、政治的団体などを除きます。
- 助成の対象となる活動/三重県内で団体が取り組む地域貢献活動(身近な地域の活性化、地域の課題の解決に資するもの)としますが、営利目的、特定の団体等の利益に偏った事業、政治・宗教活動事業などは除きます。
- 助成の額/1件あたり補助対象経費の1/2以内で上限30万円。
- 応募方法/市役所、町役場の企画担当部局、あるいはNPO、市民活動所管部局、県民センター(旧県民局企画調整部)、県庁2階の政策部地域づくり支援室配布の予定。ホームページからもダウンロードできます。(http://www.pref.mie.jp/machi/chiiki/index.shtm) 郵送を希望される場合は、下記まで連絡を。申請は活動団体がある地域の県民センターへ。
- 問い合わせ先/三重県政策部地域づくり支援室 Tel.059-224-2420 E-mail chiiki@pref.mie.jp

ニッセイ財団高齢社会助成

【I.実践的研究助成】

- 受付締切/6月14日(水)
- 助成の対象となる研究/1、高齢者の自立・ケア・自己実現・社会参加を追求する実践的研究。2、高齢社会における地域福祉、まちづくりを追求する実践的研究。3、認知症高齢者の予防からケアまでを追求する実践的研究。
- 助成の額/1件平均120万円程度、5~6件程度。
- 対象事業の期間/平成18年10月から1年(2年継続可能)

【II.先駆的事業助成】

- 受付締切/5月31日(水)
- 助成の対象となる事業/1、高齢者の自立・ケア・自己実現・社会参加を推進する先駆的事業。2、高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域社会システムづくり(の先駆的)事業。3、認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な先駆的事業。
- 助成の額/1団体350万円以内、2団体程度。
- 対象事業の期間/平成18年10月から1年半(2年半継続可能)

- 応募方法/募集要項などは所属機関の名称、送付先、役職、氏名、またはIIの希望の種類を記入し、封書に送料140円切手を同封して下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先/ニッセイ財団高齢社会助成事務局
- 541-0042 大阪府大阪市中央区今橋3-1-7 日生今橋ビル4階
- Tel.06-6204-4013
- ホームページ <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

(財)大同生命厚生事業団

サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成

- 受付締切/5月31日(水) 必着
- 助成の対象となる団体・個人/社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。ただし、過去5年以内に本助成を受けた人(グループ)は除く。
- 助成の対象となる活動/1、高齢者福祉に関する活動。2、障害者福祉に関する活動。3、子ども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの。いずれも目的、計画などが明確な日本国内での無償の活動とします。
- 助成の額/総額600万円以内、1件20万円以内、30件以内。
- 応募方法/申込書はホームページからダウンロードするか、下記まで請求。
- 問い合わせ先/(財)大同生命厚生事業団事務局
- 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-2-1
- Tel.06-6447-7101 Fax.06-6447-7102
- E-mail info@daido-life-welfare.or.jp(E-mailでの申込書提出は不可)
- ホームページ <http://www.daido-life-welfare.or.jp>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

“協働”を勉強しよう! 中間支援組織担当者ネットワーク交流会・協働勉強会

「協働ってよくわからない…」そんな声をよく耳にします。そこでものは試し、隔月に開催される協働の勉強会に参加してみました。
4月は、県・市・他の組織と連携をとった広報の裏技、市民活動団体の活動資金づくりのお手伝いの方法など、それぞれ市民活動センターの工夫ある取り組み満載! オフレコだからこそ話せる協働の秘話あり、悩み相談あり・・・気軽に参加できる場なので、お時間のある時にのぞいてみてはいかがでしょうか?

これがウワサの参考書
『みえパートナーシップ宣言
Step!2』



《中間支援組織担当者ネットワーク交流会》

各現場で市民活動支援に関わられているスタッフが集まり、情報を交換し、抱えている課題を出し合っ、相互に相談や解決のヒントをもらえる場です。昨年8月からは、協働を事例に基づいて勉強する「協働勉強会」も行っています。

《次回のお知らせ》隔月開催

● 交流会

[日時] 5月15日 (月) 午後1時30分~4時30分

● 協働勉強会

[日時] 6月19日 (月) 午後1時30分~4時30分

*場所は共に、みえ市民活動ボランティアセンター 交流スペース

主宰/W.T.Aまちづくりセンター

連絡先/0595-24-7610、090-3302-0627

e-mail/nagi_47_4_3@yahoo.co.jp

松阪市市民活動センターからの情報

NEWS 2006年4月から、市民団体「Mブリッジ」による市民活動センター運営が始まりました。

松阪市市民活動センターの公営で良かった面を引き継ぎ、そこに民営らしさを付加できるように努めてまいります。どうぞ、お気軽に松阪市市民活動センターに遊びに来て下さい。スタッフ一同、心よりお待ちしております。
松阪市市民活動センター センター長 米山哲司

〒515-0084 松阪市日野町788

TEL 0598-25-3801

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/

休館日/毎週日曜日

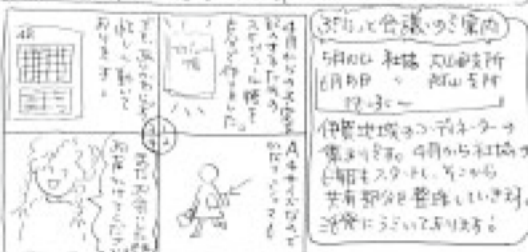
開館時間/10:00~22:00

「Mブリッジ」って?

- 松阪市で市民活動をしている仲間たちが集まって市民活動センターを運営するために立ち上げた団体です。
- 「Mブリッジ」は、団体間、地域、自治体など、分野を越えて繋がり、出会いの場を提供させていただき、松阪(M)の市民活動で不足しがちな情報、ノウハウなどをサポートし、壁や川を乗り越えることをお手伝いできる橋でありたいと考えています。

W.T.Aまちづくりセンター情報

〒518-1395 伊賀市上野橋5-3307 601号 伊賀 2F
TEL 0595-24-7610 FAX 0595-24-7611
E-mail nag_i_47_4_3@yahoo.co.jp
Web http://blog.goo.ne.jp/w.t.a.machizukuri/



伊賀市市民活動支援センターからの情報

平成17年度の利用状況報告

開設2年目に入りました。簡単ですが、昨年度のセンター利用状況をご紹介します。

総来館者	印刷件数	相談対応	夜間利用	PC利用
1340名	251件	231回	37名	40名

印刷には85団体の方々がお見えになりました(^^) まだまだ今年度も課題はたくさんありますが、少しずつ前進できるよう職員一同頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。
伊賀市市民活動支援センターの開設から1年あまりの情報提供でしたが、今月でこのコーナーでの情報提供は、最終となります。来月からは、一新された紙面上で、また情報発信等させていただきたいと思っております。ブログもご覧くださいね!!

ブログは、http://blog.goo.ne.jp/igaskscです。

〒518-1395 伊賀市馬場1128 多目的集会施設内

TEL:0595-43-1135 FAX:0595-43-2205

Eメール: igasksc@ict.ne.jp

ホームページ: http://www.city.iga.lg.jp

休館日: 月曜日・年末年始(臨時休館あり)

年末年始の休館日は、12月28日~1月4日。

開館時間: 午前9時から午後9時(ただし、午後5時以降は前日予約が必要です)



▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。幅広い趣味を生かして、まちづくりに参加されている一見八郎さんから紹介いただいたのは桂宏さん。一見さんも参加されている鈴鹿混声合唱団で指揮を担当されています。

上手い合唱より、良い合唱を

……鈴鹿混声合唱団が結成されたのは?

1988年の1月でしたから、18年ほど前です。当時、私は中学校の音楽教師で合唱指導に頑張っていました。そのことをどこからか知った初代団長の加藤さんが「鈴鹿に合唱団を立ち上げませんか?」と声をかけてくれました。彼とは初めて会った時に初対面でしたが意気投合して、「私が運営、マネージメントをしますから、桂先生は指導者になってください」「ぜひやりましょう」と握手したのがきっかけです。残念ながら加藤さんは8年前に若くして病気で亡くなりました、辛い別れでしたが…。

……メンバーはどうやって募集したのですか?

市役所の記者クラブで共同記者会見を行いました。いろんな新聞社が「鈴鹿市に混声合唱団を作りませんか?」と言う記事を掲載してくれたところ、わーっと200人以上の人が集まりました。その様子を見て加藤さんは「ノドが乾いていた人たちが、ちょっと水を掘ったら泉に集まってきたようですね」と言っていました。みんな、音楽や文化的なことに飢えていたのでしょうか?今は120人余名のメンバーで毎週木曜日の午後7時から鈴鹿市民会館で練習をしています。

……年齢層は?

半数は結成当時のメンバーですから、だんだん高くなってきて、今は平均すると50歳から60歳の間かな(笑)。年金生活の私も結成当初は45歳でしたからね。メンバーはほとんど鈴鹿市民ですが、関町や河芸、四日市など市外の方も一割ぐらいいます。

……会費は?

毎月1000円です。コンサートの時はチケットを販売します。価格は400円。メンバーの中にはポケットマネーで買い取って、知人に配っている人もいますよ(笑)。

……毎月1000円で鈴鹿市民会館を借りるのは大変では?

大勢だからできるのでしょうか。コンサートなどで使用するとなると

使用料も高いですけど、月4回練習するくらいなら大丈夫。あとは臨時練習会場費や印刷代ぐらいです。他の団体の方にも「市民会館貸し切りなんて!」と言われます。たいていの所は幼稚園の部屋などを借りて練習していますからね。でも、市民会館全部を貸し切るとロビーやいろいろな所でパート練習ができますし、最後に舞台上で合わせることもできますから。

……指導料は? 一切ありません。うち

の団員は全員同じ立場で、団長や指揮者だから上ということはありません。指揮者も団長も適材適所で担当しているだけで、みんな同じ仲間という意識です。1年目に加藤さんが「こんなによく指導してくれて…」とお礼を出してくれましたが、「それは話が違う」とお返ししましたよ。みんな同じように一生懸命活動していますからね。

……入団テストなどはあるのですか?

入りたいと思ったら木曜の練習に来てもらって、気に入ったらそのまま歌ってください。合わないと思ったら、それで構いません。去る者は追わず、来る者は拒まずです。出入りは非常に自由なんです。……合唱の経験が無い人が入って、全体のレベルが下がってしまうことは?

楽譜なんて見たことがないとか、合唱の経験は全く無いとか、そんなことは関係ありません。誰でも来てください。なかには練習を積んでもなかなか音が取りにくい人もみえます。でもね、そういう人に限って歌うことを楽しんでくれています。だから私はそういう人を大事にしています。コーラスって不思議な物で、周囲の人が上手に歌っていると、音が取りにくい人もその流れに乗って歌えるものです。両方からの声支えてくれるというか。だから人数がいればいほど、豊かなハーモニーが作れますね。私のモットーは「人間ハーモニー」「上手い合唱より良い合唱」を目指していますし、それがみんなに受け入れてもらっていると思います。

……「上手い合唱」と「良い合唱」の違いは?

上手い合唱というのは技術オンリーで、それを磨いて、磨いて、コンクールでの入賞を目指すような合唱。良い合唱というのは、人間同士が自分たちの生活の匂いを出し合いながら、人生経験も語り合いながら、一つの大きな家族的な雰囲気をもって、和やかな気持ちの中から音楽のハーモニーを作っていく物だと思えます。もともと、鈴鹿混声合唱団は歌声仲間から始まりましたから、技術を磨き上げていく合唱団を目指してはいません。他の合唱団もそのことをわかってきているので、私たちがも気楽に活動できますし、そこに誇りも持っています。

……指導するのが難しそうですが?

厳しすぎてもいけないし、だからといってレベル的に適当でいいというわけでもありませんから、指導の仕方は一番難しい合唱団かもしれせん。でも、私はそんなに苦労していませんけど(笑)。子どもたちに指導していた時にも感じましたが、ふとした時に素晴らしいハーモニーが出ることもあるのです。そんな時は自分たちでも「いいなあ」と感じます。それが一つのステップ。みんなの声を揃えて、声の出し方も注意して歌えばいいハーモニーが出るんだなって自分たちで学ばば、自然とそちらに向いていきます。

……18年続けてきたのは大変だったでしょう?

指導側と運営側。この二つがしっかりしていないといけませんし、お互いにうまが合わないダメですね。それにメンバーたちにも助けられています。ソプラノやアルトなど各パートごとのリーダーさんがパートをまとめてくれたり、アレンジの得意な人が曲を編曲してくれます。また、植木屋さんや幼稚園の先生などは仕事の技術を活かして、コンサート会場の飾り付けなどをしてくれたりします。お医者さん、学校の先生、地元の会社員や自営業。多くは主婦と退職後の男性かな…。いろいろな人がいますから、何かにつけて助かりますし、

鈴鹿混声合唱団 桂 宏 さんに



聞く

お互いに学び会えます。

……合唱が張り合いというメンバーも多いでしょう?

「木曜日、練習が終わってからが一番機嫌がいい」って笑っていた人もいましたよ。メンバーには主婦の方も多し、練習が夜ですから、家族の理解が無いと続けにくいものです。そのうえ不機嫌になって帰ったら大変です(笑)。みんなが機嫌良く帰れていることも、家族の方に受け入れてもらえた要因かなと思います。

……桂さんの楽しみは?

自分が一番楽しませてもらっていますよ。だから私はいつも団員さんに言うの、「おおきんな」って(笑)。

鈴鹿市の文化の一翼を担って

……コンサートなども行っているのですか?

3月26日に第5回のコンサートを開きました。その2週間後、4月9日にNHKBS放送の「おーい、ニッポン」に出演しました。これは各県を紹介する番組で、今回は三重県がテーマ。県内各所に中継車が出て、東京のスタジオと結んで放送されました。私たちは伊勢市の県営サンアリーナでフィナーレを飾る合唱を行いました。

私のモットーは「人間ハーモニー」

……合唱は鈴鹿混声合唱団が担当したのですか?

他の合唱団も合同で行いましたが、半数は鈴鹿混声合唱団が占めました。演奏のオーケストラは三重大学の学生さんたち、その他、民謡保存会の踊りのコーナーも加わり、400名以上の方が参加しました。

……練習日数は?

事前に合唱だけの練習会が1回、オーケストラと合わせる練習会が1回あったのですが、この日が私たちのコンサートとぶつかってしまっ、結局、私たちはリハーサルしか参加できなかったのです。もう、どうなることかと思いましたが、私は団員たちに「合唱メンバーの半数を占めるのだから、この合唱を成功させるのも破壊するのも鈴鹿混声合唱団次第ですよ」と言ってね(笑)。これはもう、コンサートが終わったら毎日練習しなくちゃダメだと思ひ、みんなによびかけて毎晩2時間半も練習しました。いつもは7時集合ですが、この時はばかりは集合も6時半にしたのですが、メンバーもNHKの全国電波に乗るといふことで、一生懸命練習しましたよ。練習最終日に「皆出席のいる?」と聞いてみたら、半分以上。18年の中で一番出席率が良かったのじゃないかな(笑)。

……どんな曲を歌ったのですか?

「美し国賛歌」といふもので、三重県に縁のある曲をいくつか繋いだ物です。例えば鈴鹿の佐々木信綱の「夏は来ぬ」とか、津出身の弘田龍太郎作曲の「鯉のぼり」、松阪出身の本居長世作曲の「七つの子」、伊勢が主会場ですから伊勢音頭。最近流行ったポピュラーでは上野出身の平井堅が歌った「瞳を閉じて」とかいろいろおりませであり、なかなか良かったですよ。

……他の合唱団やグループとの交流にもなりますよね。

交流と言えば、世界的に名高いノルウエーのオスロ室内合唱団と昨年、交流会を行いました。世界のトップクラスが集う「世界合唱シンポジウム」が京都で開催され、オスロ室内合唱団も参加したので

すが、うちのメンバーの中にオスロ室内合唱団を知っている人がいて一度声を掛けてみようというメールを送ったのです。すると「私たちも元々草の根合唱団でしたから、鈴鹿混声合唱団に興味があります。京都が終わったら鈴鹿に行きませんか?」と返信が来ました。それが現実になって、鈴鹿高校のホールと、サーキットのホールで交流会をしました。

……国際交流ということですね。初対面でもうち解けましたか?

不思議とすぐにうち解けましたね。音楽は共通語だなんて思いましたね。我々との窓口になってくれたウーラフさんは日本語がめちゃくちゃ上手で、18歳まで横浜にいたそうです。交流会の最後に「渡り鳥」という歌と一緒に歌いました。向こうは楽譜を見ただけですぐに歌えるし、日本の歌なのに一緒に歌っている我々より、はるかに上手いんですよ。この曲には「あなたたちもまた、渡り鳥のように日本に渡って来てください」という気持ちを込めました。

……音楽を通して世界的な広がりがあると、メンバーの張り合いもありますね。

なかには「我々も演奏旅行で海外へ行こう」という人もいますね。「いったい、どこで聞いてもらうんや?」って言い返しましたけど(笑)。オスロ室内合唱団との交流会やNHKの放送で満足したメンバーの一人には「先生、もうこれだけの経験させてもらったら、わし、死んでもいいわ」って言われました(笑)。それだけみんな満足してくれているんでしょう。

……合唱をお願いしたいと、依頼が来ることはありますか?

よく出前していますよ。もちろん無料出前ですよ。鈴鹿市成人式の開幕や青少年育成に関する研修会、小学校の文化祭などで歌わせてもらいました。

……鈴鹿市の文化の一端を担っていますね。

鈴鹿の文化を語る時などに名前を出してもらったりしますし、去年までは鈴鹿混声合唱団の桂として、鈴鹿市文化振興ビジョン策定懇話会に参加していました。これは文学、美術、青少年教育、音楽……と、各分野からメンバーを選んでいるのですが、「鈴鹿混声合唱団」として声をかけてもらったのは、なんらかの評価を得たのかなと思っています。

……ボランティアや市民活動団体との繋がりはありますか?

津市の方で活動している「生と死を考える市民の会」の総会では、毎回合唱をさせてもらっています。

……どこで、その会と知り合ったのですか?

初代団長の加藤さんが亡くなる前、榊原にある病院に入院されていたのです。私も団員も時々、お見舞いにかがっていましたが、その時に「ここで一度、患者さんに歌声を聞かせてあげて欲しい」と言われ、病院のホールで歌いました。加藤さんはその頃はもうほとんど動けないような状態でしたが、耳を澄ませて、ニコツとしながら聞いてくれました。それがきっかけで、奥様が「生と死を考える会」と繋いでくださいました。この会では毎年7月に総会として講演会を行うのですが、その前に20分ほど歌わせてもらっています。

鈴鹿混声合唱団

Tel.059-386-4812(酒井)

Tel.059-382-5167(伊藤)

桂 宏さんはこの人を **紹介** します。

加藤二三子さん

鈴鹿市青少年育成市民会議長のほか、さまざまなイベントの実行委員長や参画をしてみえます。



鈴鹿混声合唱団コンサートの様子です。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。